

◆高山れおな選

豊満は美食の証し大毛虫

(南房総市) 山根 徳一

子ツバメや街はおまえにやさしいか

(川崎市) しんどう 藍

反対の反対なのだ父の日よ

(佐倉市) 葛西 茂美

川岸に洋傘の骨太宰の忌

(横浜市) 宮川 ゆず

六月の岸壁ポルシェから演歌

(静岡市) 山本 正幸

雨の歌が好きでサイダーは透明で

(小平市) 倉持 聡美

どのノブも銀に黙して明易し

(稲城市) 日原 正彦

新品種育つ植田や農学部

(相馬市) 根岸 浩一

吉野杉より飛び出せり夏の鹿

(神戸市) 田中 忠士

蝸牛虫か貝かと尋ねる児

(藤沢市) 中川 節子

【評】山根さん。人間の文化は豊満を必ずしも推奨しないが、野生の生き物にとって豊満は勝利。しんどうさん。街はどうでも掲句のやさしさは無類。葛西さん。バカボンのパパの口癖を使って父なるもの、あるいは父なるものへの思いを寓意。

◆小林 貴子 選

高々とガッツポーズや夏旺ん

(福島県伊達市) 佐藤 茂

マチュピチュと囀る声や風薫る

(取手市) うらのな つめ

六月は旗日もなくてつまらなさう

(和歌山市) 見奈美 輝彦

ああこれが六月のきれいな風か

(朝倉市) 深町 明

草笛を吹かない人が歌ひ出す

(相馬市) 根岸 浩一

雪溪やコッヘルの音一歩ごと

(高萩市) 小林 紀彦

海女舟やここの十日ほど早苗舟

(津市) 中山 道治

静かさを呼び寄せている白夜かな

(熊谷市) 宮澤 喜世子

わたくしの机買いたり夏燕

(神奈川県湯河原町) 中西 恵子

トンボロで梅雨の晴れ間に恋詩

(川崎市) 長嶋 季伸

【評】一句目、ガッツポーズに名を残したガッツ石松さんを悼む。二句目、地名のマチュピチュが親しいのは囀りみたいだからか。三句目、紫陽花を愛で雨の新しいう句を作って楽しもう。四句目、子規の「六月を奇麗な風の吹くことよ」を追慕。